

「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のPCR検査に関する共同声明」について

公益社団法人日本放射線腫瘍学会(JASTRO)は4月16日に発表された[京都府立医科大学附属病院](#)ならびに[京都大学医学部附属病院](#)による「新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のPCR検査に関する共同声明」に賛同いたします。

同声明では「COVID-19 に関しては無症状であっても、手術や分娩、内視鏡検査あるいは救急医療などの診療実施前に、院内感染を予防するための水際対策として保険医療等の公費でPCR検査を行えるようにすることを強く要望いたします。」として、無症候の患者に対する新型コロナウイルスのPCR検査を保険適用(ないし公費で施行可能)とするよう求めています。また、PCR検査に必要な个人防护具と試薬の確保を求めています。無症候のCOVID-19ウイルス保有者に対する放射線治療により、患者ならびに医療者への感染拡大が起こると、がん放射線治療の抑制、機能停止に直結する恐れがあります。また、がん患者はCOVID-19感染による重症化リスクが高いことが明らかであることも、大きな懸念点です。感度、特異度とも100%ではありませんが、放射線治療患者においても、安全に治療を実施するには治療前にPCR検査を行う必要があると考えられるため、JASTROとして上記声明に賛同いたします。

令和2年4月17日

公益社団法人 日本放射線腫瘍学会

理事長 茂松直之